

第七小 巣立っていった21人 新たに迎えた12人

3月24日の卒業式で21人の卒業生が巣立っていきました。常に下学年のことを考えて行動する、自慢の6年生でした。日常的なたてわり班活動でもリーダーシップと優しさを発揮し、まさに七小の中心、大黒柱でした。計画では全校児童参加の、あたたかい卒業式を予定していたのですが、コロナウィルス感染拡大防止のため、卒業式の実施さえ危ぶまれました。当日は、内容や規模、人数を縮小しての実施となりました。規模は縮小しても思いは大きく膨らんでの卒業式になりました。21人の活躍を大いに期待しています。

4月6日の入学式も、コロナ対策の中での実施となりました。今年度は12人の元気な1年生を迎えました。入学直後から臨時休校となり、6月の学校再開までは、数回の「登校日」しか学校に来ることができませんでした。6月の学校再開からは、休校期間中にやりたかったことに次々とチャレンジし、充実した日々を過ごしています。

特別な状況下での卒業式、入学式になりましたが、今年度も七小は幸せのあふれる学校をめざしていきます。(実森浩明)



六中生、入学式からみんな頑張っています！

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月7日の入学式は新生入生、在校生、保護者、教職員のみでの参加で実施しました。令和2年度新生入生は、男子7名、女子9名の合計16名です。入学式の翌日から臨時休校になり、6月1日に学校が再開しました。ただし、1学期以降の様々な行事が中止または延期になりましたが、学校では、感染防止の対策をとりながら、教育活動を進めています。教室では机と机の間を2メートル離したり、体育の授業では生徒同士の距離をとっています。ちなみに給食は6月8日(月)から始まりました。

(副校長 佐藤正和)

4月7日 入学式後の記念写真



体育の授業



6月9日 給食 丸パン、オレンジジュース、チキンカツ



用務員の古井さん作成の対面シールド